

(知事公室)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(自助・共助・公助を強化する)			(5) 防災消防航空センター：ヘリ拠点施設整備構想(3,806千円)	
4 百年の礎を築く 【戦略11】熊本都市圏の拠点性向上 戦略11 - 州都をめざした取組みの展開 拠点性を高める	484,400	451,266	1 九州広域防災拠点強化整備事業(再掲)(P1)に記載	防災総務費のうち P147～P150
6 その他 (1) 重要政策調整事業	20,000	11,818	1 重要政策調整事業 知事からの指示事項や年度途中に発生した重要案件等について、必要な調査、調整又は事業を実施した(事業実施所属へ令達)。 (1) 「阿蘇の世界農業遺産を応援する夕べ」開催事業(むらづくり課) 世界農業遺産に認定された阿蘇への支援の輪を県全体に広げるため、県内の経済界や農業団体等に対して、阿蘇世界農業遺産基金への支援等呼びかけるイベントを開催した。 (2) 県民荣誉賞贈呈式事業(秘書課) 監督として福岡ソフトバンクホークスを日本一に導いた氷川町出身の秋山幸二氏に対して、日本中に感動と勇気を与えたこれまでの功績を称えるため、県民荣誉賞を贈呈した。 (3) インドネシアハラール関係トップセールス事業(国際課、流通企画課) 全国に先駆けて本県からインドネシアへ牛肉の輸出を開始したことを生かし、県産牛肉の販路拡大及び本県への観光客誘致促進のため、インドネシアにおいて知事トップセールスを実施し、レセプションを開催した。 (4) 台湾・高雄市政府ミッション団来県対応事業(国際課) 台湾・高雄市長をはじめとする政府ミッション団の来県の機会を捉えて、県内企業の販路拡大及び熊本高雄間定期便化の実現のため、歓迎レセプションや高雄市観光プロモーション等を実施した。	計画調査費のうち P134～P135
(2) 広聴広報の推進	1,330	419	1 広聴事業 県政についての県民の意見や要望を幅広く聴き、県の施策に反映させた。 (1) 知事への直行便(郵送・メール): 県内約620か所に設置(448件処理) (2) 県民対話事業: 知事と地域振興などに取り組む団体等との意見交換(各広域本部ごとに4か所で実施)	広報費のうち P122～P124

(知事公室)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(2) 広聴広報の推進)	218,746	206,905	<p>2 広報事業</p> <p>県の施策、事業について、様々な広報媒体を活用しながら、県民への説明責任を意識した情報提供に努めるとともに、県外に向けて、本県の認知度向上を目指し、熊本の個性や魅力について広く情報発信を行った。</p> <p>(1) 新聞紙面広報 新聞5紙に26回掲載</p> <p>(2) ラジオ広報 ・RKK「ふれあいくまもと」：3分番組（毎週月～金曜日・年261回放送） ・FMK「県庁ダイアリー」：3分番組（毎週月～金曜日・年261回放送）</p> <p>(3) テレビ広報 ・RKK「はっ県！くまモンラボ」：4分30秒番組（毎週水曜日・年45回放送、特番30分2回放送）</p> <p>(4) くまもとの魅力発信事業 ・県外の人々に熊本への興味・関心を持ってもらうため、くまモンを活用した効果的なイメージアップ広報を展開した。 ・九州向け広報として、鳥インフルエンザ対策のためのラジオCMと阿蘇山噴火風評被害対策のためのラジオ広報を行った。</p> <p>(5) 熊本県広報誌発行事業（「県からのたより」） ・規格：タブロイド判、4ページ 発行回数：年6回(偶数月) 発行部数：58万5千部/回</p> <p>(6) ウェブ活用広報事業 ・メール広報誌「気になる！くまもと」配信 配信頻度：週1回（毎週木曜日） 登録者数（配信数）：33,043人（平成27年4月1日現在） ・県ホームページ運営管理 タイムリーな情報発信に努め、年間約220万件のアクセスがあった。</p> <p>(7) 首都圏広報強化事業 熊本の魅力を“赤”の統一ブランドイメージで積極的に発信し、くまモンを活用しながら、効果的な広報を展開した。 この他、政令市熊本市と連携した広報や、首都圏で話題性のあるイベント、企画等とのタイアップ、更には、パブリシティ広報などを積極的に展開した。</p>	<p>広報費のうち P122～P124</p>